

令和7年度 立川市立上砂川小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	<p>◎自ら考える子 (自ら学び、よく考え、伝え合い、主体的に判断して表現できる児童の育成)</p> <p>○心美しい子 (互いに協調し、人を思いやる心や豊かな感性をもつ児童の育成)</p> <p>○たくましい子 (心身ともに健康で、他者と協働で目標達成ができる児童の育成)</p>
---------	---

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取組
<p>○各教科における基礎的な知識及び技能</p> <p>◎各教科で学習した知識や技能を活用して主体的に問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度、多様性を尊重する態度と互いのよさを生かして協働する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「上砂川小スタンダード」を活用した授業の構造化 ・学習意欲を高め、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための授業の実施及び改善 ・教科等横断的な視点で指導を行うカリキュラム・マネジメントや、言語活動の推進 ・体験的な学習及び問題解決的な学習を意図的・計画的に設定した「本物から学ぶ」学習の充実 ・言語能力を習得する基礎となる読書活動の充実 ・効果的なICT機器等の活用 ・個別最適な学びと協働的な学びを実現するための時間の設定 ・中高学年の教科担任制による専門性を高めた学習指導 ・就学支援シート、学校生活支援シート、個別指導計画を活用した個々の児童に応じた適切な支援・指導 ・コグトレ（認知機能を高めるトレーニング）の活用

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	<p>○日常生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使う力</p> <p>○感じたことや考えたことについて、文章の構造を考えながら表現する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・習った漢字や言葉を読んだり書いたりする活動を適宜取り入れる。 ・毎日の音読や漢字練習などの家庭学習の実施を推進する。 ・低学年では短文作り、中学年以上では構成を意識した文章作りを取り入れる。また授業の中で発表する場を意図的に設け、他者意識をもって文章作りに取り組ませる。 ・読書を習慣づけさせ、読解力・語彙力の向上を図る。そのために朝読書や図書の時間を確実に実施する。
社会	<p>○社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する力、考察したことや構想したことを説明する力、それらを基に議論する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の気付きや疑問をもとにした必然性のある学習問題を設定し、追究意欲を高める。 ・学習問題にせまる学習計画を作成し、見通しをもたせる。 ・課題追究に適切な資料を精選し、活用できるように提示する。（基本は教科書・資料集） ・表やグラフ、写真などの資料の読み取り方や視点をもたせる。 ・机間指導やノートの見取り、確かめ問題等を通して理解度を把握し、適宜補充する。 ・学びの共有と、振り返りによる知識の整理を行う。

算数	<ul style="list-style-type: none"> ○数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などの理解、日常の事象を数理的に処理する力 ○日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり、目的に応じて柔軟に表したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しの計算練習を取り入れる。 ・全学年、習熟度別指導の特性を生かして個々の児童の能力に合った指導、支援をする。 ・タブレット教材を活用する。 ・授業以外での学力向上の取組を行う。(毎日の計算練習等の家庭学習、放課後補習教室の活用等)
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容、器具の役割・操作方法、問題解決の方法を考える力の定着や伸長、並びにそれらを記録したり、結果を整理したりする力 ○多くの情報を読み取り、取捨選択し、要点をまとめ、関連付けて表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・器具を用いて、成功体験だけではなく、失敗体験を通して、本質に気付くことができるようにする。 ・児童自身が、自分で得た知識や技能を使って説明したり、表現したりする機会を通して、定着を図る。 ・比較、関係付け、条件制御、多面的思考などの調べる活動のポイントを確実に指導し、定着させる。 ・問題解決の筋道を明確にできるよう支援する。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付く力 ○身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活を考え、表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことを観察カードやワークシートなどに書く際の文型の提示をする。 ・児童の考えを整理し、伝え合ったり交流したりする時間を確保する。 ・試行錯誤や繰り返す学習活動を取り入れる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解し、音楽を表現するために必要な技能 ○音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を表現するために必要な技能の指導を行う。 ・題材の中で、ペア・グループで歌唱や演奏を聴き合う活動を取り入れる。 ・リトミックなどで体を動かし、知覚と感受をつなげる活動を取り入れる。 ・楽器やパートの選択肢を複数準備し、一人一人が自分らしく学ぶことができるようにする。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ○道具や材料の使い方を理解し、自分が表したいことに合わせて使用できる技能 ○造形的な面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をする力 ○身の回りの作品などから、自分の見方や感じ方を広げたりする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具や材料の基本的な使い方の指導を行う。 ・前学年で使用した材料や道具を振り返る時間を設定する。 ・互いの作品のよさを伝え合い、表現の工夫について学び合う機会を設定する。 ・個別指導を充実する。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、問題を解決する力 ○自分の感性だけではなく、他者の見方や感じ方も含め、生活を工夫する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容を日常生活で実践する活動を取り入れる。 ・長期間にわたる家庭での取組を促し、学校での学びと家庭の生活をつなげる。 ・グループ活動や他者への活動を取り入れ、日常生活の工夫を考えさせる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○各種の運動の特性に応じた運動の行い方及び、基本的な動きや技能 ○身近な生活における健康・安全について理解する力 ○運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断し、他者に伝える力 ○運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入においてサーキットトレーニングを実施する。 ・教科担任制を利用して、体育における運動特性や授業について研究することが可能な教員が授業を担当する。 ・基本的な運動技能に関する学習を帯で取り入れる。 ・学期末に保健チェックシートを実施する。 ・給食調理師による栄養についての学習を実施する。 ・マット・鉄棒等の器械運動、ハードル走・幅・高跳び等の走・跳の運動及びなわとび旬間の実施などで、個別最適かつ協働的な学びを推進する。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○聞くこと、読むこと、話すこと、及び高学年における書くことにおいて実際のコミュニケーションで活用できる基礎的な技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・中・高学年で教科担任制を実施し、外国語担当による充実した指導を行う。 ・ALTの計画的な配置をする。 ・児童が伝えたいことを話したり、書いたりする時間を設定する。 ・他者理解や国際社会へ貢献しようとする態度を育てるために、異なる文化をもつ人々との交流や体験的な活動を設定する。 ・身に付けた知識や技能を活用する場として「TGG GREEN SPRINGS」での体験を高学年で実施する。